

図書館だより

NO. 112 2007年 6月号
(2007年6月1日発行)

はつかいち市民図書館
電話(0829)20-0333
廿日市市下平良 1-11-1

ホームページ <http://www.hiroshima-hatsukaichi-lib.jp/>

環境月間にちなみ、6月の展示テーマは地球環境です。

はつかいち市民図書館では、毎月テーマを設けて、関連する本の展示を行っています。

6月の展示テーマは、『地球のためにわたしができること』です。図書館には、地球環境をテーマに扱った題名の本や、題名にはないけれど、絵本や写真集にも、地球環境の危機を訴えているものがあります。「地球環境について」考えることは、特別なことではなく、自分の毎日の生活を見つめ直すことでもあることを多くの人に知ってもらい、行動してもらえるように、幅広い分野から選んで展示しています。

慌ただしい生活のなかで、つい忘れてしまいがちな、自分も地球とつながっていることを、一つでも二つでも感じてもらえたら……。そして、図書館は、1冊の本を多くの人に大切に長く利用していただくことで、資源の有効活用を行っている場所でもあることを知っていただけたらと思います。

今月の展示

<さくらびあ展示>

・『さくらびあ物語』—ロシア文学 A.チェーホフに関する本—

さくらびあにロシア管弦楽団がやってきます。これに関連してロシア文学、その中でも短編小説や4大戯曲を書いたA.チェーホフに焦点をあて、チェーホフ著作の本とチェーホフの評論を集め展示しています。

<中央展示>

・『地球のためにわたしができること』—わたしたちと地球のつながりを考える本—

地球環境って、どうなってしまうんだろう？地球環境の状況を知る本や、自分の暮らしが、地球とどんなふうにつながっているのか、調べたり、考えたりするきっかけとなる本を集め展示しています。

6月1日(金)～11日(月)まで、市民ホールで、環境パネル展も同時に開催されます。

<児童展示>

『雨が降ったら』—雨の日を楽しむ本—

ポツポツ、ポットン、パラパラ、ザーザー。みなさんがイメージする雨の音はどんな音でしょう？今月は雨が降っていても、楽しくなるような本をたくさん集めて展示しています。

今月から「図書館員のすすめる本」の掲載をはじめました。みなさんからの「私のすすめる本」も引き続き募集しております。ご応募お待ちしております。

New

図書館員のすすめる本

一般書

『はじめての中国語』CDブック

野村邦近/著

820/ノ 2007年 ナツメ社

図書館には、ときどき外国の方が来館されます。英語圏の方がほとんどですが、廿日市市には、中国出身の方も多く住まわれているので、中国語の挨拶だけでもできるようにになりたいと思って学習をはじめました。本の内容は、発音編・基本編・応用編の3編に分かれており、CDを聞きながら、学習を進めていくと「あいさつ」「月日・曜日・時間の表現」「数字の読み方」などが、短時間に覚えられました。学んだことが活かされる日を夢みて、次は、フランス語にチャレンジしてみようと思いませんか？

児童書

『裏表をいかす両面おりがみ』

長谷川太市郎/著

754/ハ 2004年 プティック社

裏表をいかす両面おりがみ。この題名を見て「両面折り紙を買わないとできないのか」と思われるかも知れませんが、そんなことはありません！いつも余ってしまう黒の折り紙が見事に直立するペンギンや猫に変身するのです。その他にも色の組み合わせが楽しいカラフルな小鳥や花風車、色エンピツなどもあります。

カウンターに折り紙の見本が置いてありますので参考にどうぞ！！

今月の新着 大人の本

図書館には1カ月に約700冊の新刊が入ります。その一部を紹介します。

☆☆ 図書館のホームページで新着図書の一覧を見ることができます ☆☆

- 『がばいばあちゃんの勇気がわく50の言葉』島田洋七/著 徳間書店 159/シ
『日々パワー』堀川波/著 ポプラ社 159/ホ
『昭和天皇最後の側近 卜部亮吾侍従日記 第3巻』卜部亮吾/著 朝日新聞社 288.4/ウ
『庭園日本一 足立美術館をつくった男』足立全康/著 日本経済新聞社 289.1/ア
『ローカル線各駅下車の旅』松尾定行/著 筑摩書房 B291.0/マ
『裁判官の爆笑お言葉集』長嶺超輝/著 幻冬舎 327.0/ナ
『投資信託にだまされるな!』竹川美奈子/著 ダイヤモンド社 338.8/タ
『のびのび子育てこんなお母さんなら大丈夫!』汐見稔幸&野原しんのすけ一家/著 379.9/シ
『「医者いらず」の食べ物事典』石原結実/著 PHP研究所 498.5/イ
『満足できる家づくりたった50の方法』
快適な家づくりを考える会/編著 主婦と生活社 527/マ
『近藤典子の片づけが生んだ奇跡』近藤典子/著 小学館 597.5/コ
『ポール・スミザーの自然流庭づくり』ポール・スミザー/著 講談社 629.7/ス
『さくら日本切手カタログ 2008年版』日本郵趣協会 693.8/サ
『昭和の風景』東京都写真美術館/著 新潮社 740.2/シ
『花が時をつなぐ』川崎景介/著 講談社 793.2/カ
『日本語は天才である』柳瀬尚紀/著 新潮社 810.4/ヤ
『バイアウト』幸田真音/著 文藝春秋 F/コ
『6時間後に君は死ぬ』高野和明/著 F/タ
『イナイ×イナイ』森博嗣/著 講談社 F/モ

あたらしく入った本 こどものほん

『-グリム童話-あいてて！』

ナタリー・バビット再話 フレッド・マルチェリーノ
絵 せなあいこ訳 評論社 E/マ

王冠のアザが生まれつきあった赤ん坊は、占い師からお姫さまと結婚する運命だと言われた。それを聞いた王さまは…。ユーモラスでお洒落な絵本。

『犬のジミーはバレエスター』

リンダ・メイバーダック文 ジリアン・ジョンソン
絵 小澤征良訳 講談社 E/シ

ジミーのパパとママはバレエ団の先生。子犬のころから劇場に通っていたので、いつしかジミーはダンサーになりたいと思うようになりました。

『-みんなで考えよう-世界を見る目が変わる50の事実』

ジェシカ・ウィリアムズ 酒井泰介訳 朝倉めぐみ
絵 草思社 302/ウ

環境問題や世界の貧困問題など、世界中にある不平等や不公平について若者に考えてほしい問題を50の切り口でわかりやすく解説しています。

『文化-世界地図から学ぼう国際理解-』

著古内洋平 編こどもくらぶ ほるぷ出版
302/フ

宗教や民族、言語や文字などのテーマが世界地図で、地域や国ごとのさまざまな違いや移り変わり、つながりなどが一目で読み取れます。全6巻。

『子どもに語るロシアの昔話』

伊東一郎訳・再話 茨木啓子再話
こぐま社 983/コ

ロシアのグリムと呼ばれるアフナーシエフの昔話集を定本とした作品。厳しい自然中で生きるロシアの人々に語り継がれてきたお話を味わって下さい。

『サリーおばさんとの一週間』

ポリー・ホーヴァス作 北條文緒訳 偕成社
933/ホ

両親のパリ旅行のために依頼していたベビーシッターが病気になってしまった。代わりにやってきたのは外見も言動の型破りなサリーおばさん。三人姉弟は毎晩彼女の話聞くうちに……。

『赤ちゃんが生まれる』 監修：北村邦夫（社）日本家族計画協会クリニック 金の星社 491/ア

『-ズバリ答えます！600人の小学生からとどいたたくさんのなぜ？-生き物のなぜ？』

井口泰泉監修 ナムーラミチヨ絵 偕成社 480/イ

『角野栄子のちいさなどうわたち 1～6』 角野栄子・作 佐々木洋子・絵 ポプラ社 913/カ

『帰ってきた船乗り人形』 ルーマー・ゴッテン作 おびかゆうこ訳 たかおゆうこ絵 徳間書店 933/コ

『ぼく、デイヴィッド』 エリナー・ポーター作 中村妙子訳 岩波書店 933/ホ

『-アレルギーっ子絵本-ふしぎの山のしんりょうしょ』

佐藤のり子・文 國本りか・絵 東京新聞出版局 E/ク

～『ベルリン 1919 1933 1945』の三部作がついに完結しました～

クラウス・コルドン 酒寄進一訳 理論社

20世紀前半のドイツの転換期を描いた大河小説です。第一巻『1919』は第一次世界大戦後、帝政が崩壊したドイツで、めまぐるしく変化する時代に翻弄される人々の姿を、ベルリンの貧民街に住むゲープハルト一家の長男ヘレの目を通して描かれています。二作目の『1933』は、15歳のハンス（ヘレの弟）が主人公で、ヒトラーが首相になり差別と争いが繰り返される時代が描かれて、第三巻は主人公がヘレの娘エンネに変わり、死と隣り合わせの終戦までの日々を描いた『1945』です。この三部作は、ベルリンの労働者階級の家族（その時々で最も苦しい思いをしなければならなかった人々）から見た現代史で、三巻を通して十代の主人公の視点で語られています。十代の人々に向けて書かれ「自由」と「平和」の尊さを訴えるこの本は、長編で重い内容を扱っていますが、読み始めるとぐんぐんと引き込まれていく作品です。若い人や大人の方々に是非読んでいただきたい本です。

はつかいち市民図書館アンケート集計結果から

平成19年3月に実施したアンケート調査では、利用のマナーに関するご意見が多数寄せられていました。そのうちの一部をご紹介します。ひき続き職員から注意を呼びかけていきます。より多くの人に気持ちよく利用していただくためにもみなさまのご協力をお願いします。

1.窓側のイスの利用について

- ・ゆったりとしたイスで読めるのには満足だがもっとイスがほしい。窓際のイスは2人用を1人しか利用できない感じがあり、2人で利用するようにと知らせる方法をとってほしい。

2.本の利用について

- ・本の中の一枚がぬれていたたり、落書きがあり、借りる人のモラルのなさが残念です。
- ・貸し出した本が破れて返却されたりする事もあると思います。公共の本なのでそういった本を展示する等の企画もあればよいと思います。
- ・図書館の図書によく傍線を引いたりしている人がいます。全く不愉快です。貸出しの席に注意を喚起する掲示物でも置いて絶対にこのようなことをしないようアピールしてください。
- ・皆で学べる本は大切に扱うマナーを心がけたいものです。

3.リクエストの本について

- ・リクエストが早く読めるように皆が返却を早くするように対応しよう。

4.館内での利用マナーについて

- ・携帯電話の利用禁止をもっと徹底していただきたい。
- ・さわがしくしている子や携帯の人の話し声等の指導を願います。



6月の図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
					1 ◎	2
3	4 休館	5	6	7	8	9 ☆
10	11 休館	12	13	14	15 ◎	16
17	18 休館	19	20	21	22	23 ☆
24	25 休館	26	27	28	29	30

◎…ちいさいこのためのおはなしかい

【対象】乳幼児

※整理券を相談窓口で配布します

【時間】1回目 11時～

2回目 11時30分～

☆…おはなしかい

【対象】幼児から大人まで

【時間】11時～

いずれも

【場所】は図書館会議室です

